



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

ベトナムにおける現地教育事情等に関する調査

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-09-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 御菩薩池,好行 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00174395

ベトナムにおける現地教育事情等に関する調査

前ハノイ日本人学校 教諭

埼玉県所沢市立南小学校 教諭 御菩薩池 好行

キーワード：ベトナム，ハノイ，現地教育，体育科教育

1. 調査の目的

ベトナムの体育科授業を実際に参観することによって、ベトナムにおける体育科教育の現状について理解を図る。また、ベトナムと日本の体育科教育を比較することにより、自分なりに日本の体育科教育の特徴を把握し、今後の授業実践に生かす。

2. ベトナムの教育課程

体育の年間授業時数は、第1学年では35時間、その他の学年では70時間である。日本では、今回の学習指導要領の改訂において、子どもたちの体力低下を踏まえ、運動の楽しさや基本となる動きを重視した体育の授業時数の増加が必要であるとして、低学年及び中学年の体育の授業時数が増加されたが、ベトナムと日本の授業時数と比較するとベトナムのほうが少ない。

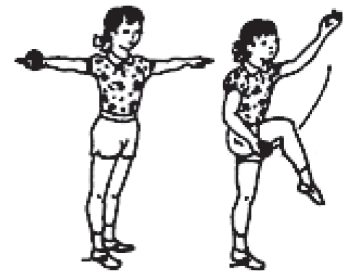
3. 指導内容

日本の文部科学省にあたる教育訓練省から教師用指導書が発行されているが、運動領域は「集団行動」「全般的な発達のための体操」「構えや動きを習得する運動」「ゲーム運動」「選択スポーツ」の5つに分かれる。また、指導書には1時間毎の指導内容も示されており、1時間の授業で主に2領域の内容が取り上げられている。教師はそれに基づいた指導を行っている。

【資料】教師用指導書（抜粋）

膝の下を通してボールを投げて捕る。

- ・準備：両足を肩幅に開いて立つ。両手は広げるか、体にそっておく。
利き手でボールを持ち、手のひらは上に向ける。
- ・動作：ボールを持っている手と足のももを同時に上げ、体を前のほうに曲げる。
ボールを持っている手を膝の下に出して、手首でボールを上を投げる。
ボールが落ちてきたら片手か両手でボールを捕る。
この動作を最初の段階からやる。
できるだけボールを落とさないようにすること。（右図参照）



Hinh 22

4. 実際の授業

(1) 「走り幅跳び」「選択スポーツ [ダーカウ (ベトナム蹴鞠)・バトミントン]」

平成21年2月14日（土）、ロモノソフ中学校において、ラム先生による6年生の授業を参観させていただいた（ベトナムでは6年生は中学生である）。始めに教師が各運動のポイントを説明し、生徒が繰り返し練習するという授業内容であった。段階を踏んだ指導等は特に見受けられなかったが、生徒は教師の指示通り活動していた。

(2) 「かけっこ・リレー」「ゲーム運動（人数集め）」「エアロビクス」

平成21年11月2日（月）、ドアン・ティ・ディエム小学校において、ミン先生による3年生の授業を参観させていただきました。1時間の授業中、2曲のエアロビクスに取り組んでいたが、表現の内容については、ドアン・ティ・ディエム小学校の体育教師5人で話し合い、決めているとのことだった。

5. 施設・服装・その他の体育的な取り組み

(1) 施設

運動施設の整っていない学校がほとんどである。訪問させていただいたロモノソフ中学校は運動場がなく体育館も床がコンクリートであったし、ドアン・ティ・ディエム小学校も運動場がなく中庭で体育授業を行っていた。体育館もやはりコンクリートであった。ドアン・ティ・ディエム小学校は私立学校で屋内プールもあったが、授業で使用するのではなく長期休業中の有料のクラブ活動の際に使用しているとのことであった。

(2) 服装

児童は体育の時間に運動着に着替える習慣がなく、制服のまま活動していた。また、靴ではなくサンダルで活動している児童も多く見られた。

(3) その他の体育的な取り組みについて

体育授業ではないが、多くの学校が朝の時間や休み時間などに、ラジオ体操のような運動に取り組んでいる。ドアン・ティ・ディエム小学校では、中休み（30分休み）に中庭に集合して、全校体操（15分程度）に取り組んでいた。児童数の関係で、曜日ごとに実施学年が決められているそうである。ロモノソフ中学校でも、同様の体操を行っていた。

6. ベトナム児童の体力の実態

平成22年11月13日（土）、ベトナムの4年生児童21名（男子13名・女子8名）に対し、新体力テストを実施した。計測児童数が少ないため一概には言えないが、長座体前屈と20mシャトルランで大きな差が見られるなど、ベトナム児童の体力の実態の一部を知ることができた。

(1) 男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
ベトナム	11.5	16.2	36.8	25.9	15.8	9.9	130.5	13.5
ハノイ日本人校	11.7	17.3	25.0	29.5	31.0	9.5	134.7	19.0
日本全国	14.9	17.6	30.2	37.7	44.0	9.6	147.1	22.3

(2) 女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ
ベトナム	10.8	16.0	37.8	28.5	7.5	10.9	106.4	8.9
ハノイ日本人校	11.6	15.9	28.9	28.9	21.9	9.9	129.4	10.9
日本全国	13.9	16.4	33.9	37.0	33.2	9.9	138.7	12.5

ハノイ日本人学校：男子22名、女子19名 日本全国：平成20年度結果

7. まとめ

本調査を通して、ベトナムにおける体育科教育の現状について理解を図ることができた。特にベトナム体育教師へのインタビューからは、指導書通りの指導から教師の工夫を取り入れた指導に、内容が変化していることが伺えた。今後、運動場や体育館などの施設面が整備され、より充実した授業が展開されていくのではないだろうか。また、本調査の過程で現地校のベトナム児童に長なわ跳びの授業を実践することができたが、学習過程に段階があり指導に流れがある等、その指導についてベトナム体育教師の視点から意見してもらえたことは、自身（日本）の体育の特徴を認識することにもなり、今後の指導に生かせるよい経験となった。